

たいにいい・ぼっくすつうしん

Vol.59

令和2年
2月12日

繋がれ。人に。未来に。

コロナウイルスが猛威を振るい、人の不安感が募っています。対策を講じ、安心を得るため、マスクを大量に求める心理は、複数の近隣販売店を回っても在庫ゼロであることから実感します。インフルエンザ感染予防にマスクの効果を疑う専門家の見方があるなかで、どの情報を選択することが正しいのか判断に悩みますが、マスク不足は正体が知れないウイルスへの不安が先行している結果なのだと思います。そして、これは障がいを抱える人へ向けられる視線と同じものを感じます。

先日、娘の入学説明会に行きました。初回の就学相談の段階から、娘の為にも、私たち親の為にも、母子分離を強く求め、度重なる話し合いをしました。結果、“専門性のある支援学校”が妥当との決定が下りました。支援学校の面談では、母子分離について理解を示す相槌をする一方、母子分離に向けた目標設定は明示できず、教員は一切呼吸器に触れることはできず、人工呼吸器の管理は保護者にしてもらうため、娘が過ごす空間から離れることは認められないとの説明を受けました。人工呼吸器に対して十分な知識と対応は無く、ただ、リスクと責任回避のためできないと説明され、同い年の他児と同等のスタート地点に立てないのだと知らしめられました。そうであるなら、未来の大人たちに知ってもらうことの意味の大きさを思い、地域の小学校に通学して身近な存在になることを選択するべきではないかと考えてしまいます。未来に繋ぐ選択は果たしてどちらでしょうか。

未来を考えるのも決めるのも、国や県や市や学校や正体不明のウイルスでもなく、人です。インクルーシブの発展を願って、みんなで少しずつアクションしていきましょう。

たいにいい
のようす

写真掲載の欄のため、内容を削除しております。

3月の予定
 ホワイトデー
 (創作、イベント)
 春季長期休暇
 (計画書参照)

3月 休業日

1日
 7日 8日
 14日 15日
 20日 21日 22日
 28日 29日

